



成果指標				
成果指標	施設の効率的な維持管理			
指標設定の考え方	保守点検、改修等により、適正な維持管理を行い施設の保全を図る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	28000	28000	0	0
実績	20381	22533	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	建築20年を経過し、突発的な修繕が出ることもあり、予定されていた修繕が後回しになるケースもある。予算を増やすことは難しいが、なんとか対応していかなければいけない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地域事務所やコミュニティセンターは、双海地域における行政事務の遂行やコミュニティ活動の推進に必要不可欠のものであるので、今後とも適切な維持管理に努め、施設の意義・役割を十分に果たしていくようにしていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題